

# 期待される効果

- (1) 各神経筋疾患における嚥下障害のメカニズムを解明する。
- (2) 神経筋疾患患者において、より早期から嚥下障害を検出できる。
- (3) 食道入口部の弛緩不全を有する患者を抽出し、治療やリハビリ(ボトックス注射、バルーン法)の有効性を検討する。